

製品名: DGK- β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09947**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	DGKB
別名	DGKB; DAGK2; KIAA0718; Diacylglycerol kinase beta; DAG kinase beta; 90 kDa diacylglycerol kinase; Diglyceride kinase beta; DGK-beta
遺伝子 ID	1607.0
SwissProt ID	Q9Y6T7
免疫原	抗血清はヒト DGKB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 657-706

背景

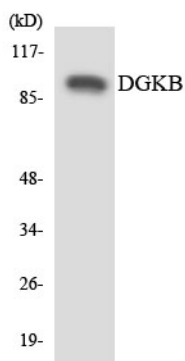
ジアシルグリセロールキナーゼ (DGK) は、セカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロール (DAG) の細胞内濃度を調節する

因子であり、細胞プロセスにおいて重要な役割を果たします。哺乳類では9つのアイソタイプが同定されており、それぞれが別々の遺伝子によってコードされています。哺乳類 DGK アイソザイムは、保存された触媒 (キナーゼ) ドメインとシステインリッチドメイン (CRD) を含みます。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ジアシルグリセロールキナーゼ β アイソタイプです。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた2つの転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: $\text{ATP} + 1,2\text{-ジアシルグリセロール} = \text{ADP} + 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール3-リン酸}$ 。 ,酵素調節: ホスファチジルセリンによって刺激される。 ,機能: 長鎖ジアシルグリセロールに対して高いリン酸化活性を示す。 ,類似性: 真核生物のジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属する。 ,類似性: 1つの DAGKc ドメインを含む。 ,類似性: 2つの EF ハンドドメインを含む。 ,類似性: 2つのホルボールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含む。 ,

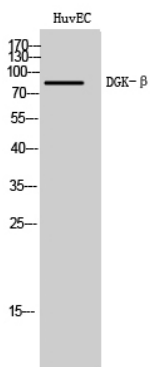
研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;

画像データ



DGKB 抗体を使用した HUVEC 細胞からの溶解物のウェスタン ブロット分析。



DGK- β ポリクローナル抗体を用いた HuvEC 細胞のウェスタンブロット解析